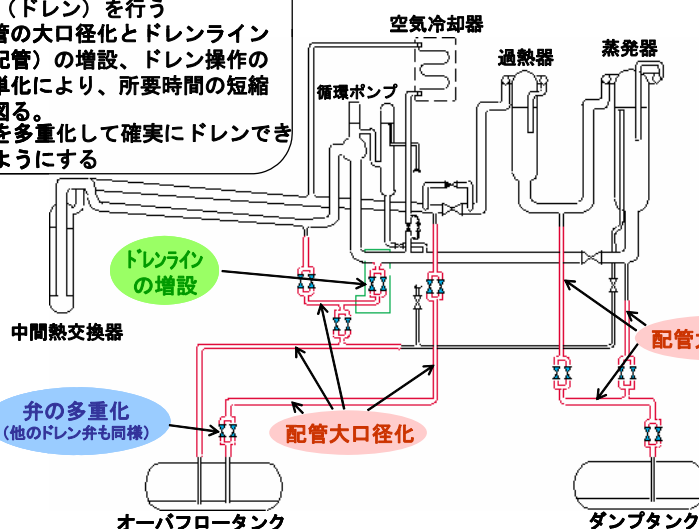
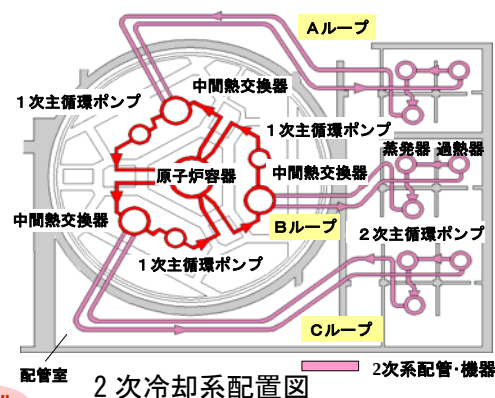


試験件名	2 次冷却系関連試験 (2 次冷却系ナトリウム充填・緊急ドレン模擬試験)	当該試験の速報回数	1
試験目的	ドレン配管の追加・改造、ドレン弁の電動化・多重化等の改造を踏まえた手順に従って、ナトリウム充填を行い、また、同様にナトリウムの緊急ドレン操作によりドレン時間の確認を行う。		
試験範囲	2 次冷却系ナトリウム充填ドレン系 B ループ		
主要な試験項目	試験内容	結果	実施時期
1 ナトリウム充填試験 (B ループ)	ナトリウム充填手順に従い、2 次主冷却系 (2 次補助ナトリウム系含む) へのナトリウム充填が円滑に行えることを確認する。	ナトリウム充填が円滑に行えることを確認した。	平成 19 年 5 月 23~24 日 試験完了
2 2 次冷却系緊急ドレン模擬試験	緊急ドレン操作を行い、所定のインターロック (ACS の起動阻止インターロック含む) にしたがってドレン弁が動作すること、及びドレンが所定の時間内 (ドレン弁 1 弁が故障で開かないとして 25 分以内) に行えることを確認する。		平成 19 年 5 月 18 日~同 8 月初旬実施予定

ナトリウム漏えい時には、直ちに漏えいループのナトリウムの抜き取り (ドレン) を行う
・配管の大口径化とドレンライン (配管) の増設、ドレン操作の簡単化により、所要時間の短縮を図る。
・弁を多重化して確実にドレンできるようにする



ナトリウム充填ドレンラインの強化工事概要



試験風景 (アルゴンガスによるタンク加圧操作)

(充填試験)

- ・充填手順は、①システムの真空引きに続くアルゴンガスによるタンクの加圧、②電磁ポンプによるナトリウムの汲み上げ、③真空ポンプと電磁ポンプの連動による高位置までの充填を行うこととなっている。
- ・2 次系 B ループのナトリウム充填が、上記の定められた手順で問題なく行えることが確認できた。また、充填と試験条件を変えたドレンは今後も何度か実施される。
- ・2 次系 B ループのナトリウムの充填量は約 200m³ であった。
- ・B ループとしては約 3 年振りのナトリウム充填となる。(ちなみに A ループも約 3 年振り、また漏えいのあった C ループは約 11 年半振りの充填)